

りーど通信 Vol.16



〒814-0153 福岡市城南区樋井川4-1-11 2016年4月1日発行

ヘルパーステーションほっとほっと 092(866)1622 グループホームすてっぷ 092(834)3365
福岡市城南区知的障がい者相談支援センター 092(874)7907 短期入所の家りーど 092(834)3368

保健福祉総合計画

福岡市は現在、次期保健福祉総合計画を策定中です。これは、今後5年間の福岡市における保健、医療、福祉に関する施策を総合的に推進するマスタープランであり、障害者基本法に定める障害者計画も兼ねています。現の家も平成10年にスタートしたこのプランにより整備され、法人の歩みとしても馴染み深いものもあります。

障がい分野の原案では、障がい者の社会参加と地域福祉の基盤作りという2点が強調されています。この中では、当法人も要望を重ねてきた移動支援サービスの充実、拡大や24時間対応の地域生活支援拠点を各区に整備することなどの施策も盛り込まれています。特に、親亡き後の生活支援や高齢障がい者への支援などを柱とする親亡き後の課題について真正面から向き合う姿勢が示されたことは評価されるべきものです。ただ逆に、障がいの重い人が生活できるグループホームの整備やホームで生活する障がい者に対する成年後見制度の充実など今後、施策具体化の中身が問われてきます。当法人としても様々な意見を具申していくと思います。当センターは、障がいのある人の地域生活支援の拠点として開設し、間もなく3年目を迎えるが、その機能は今後の福岡市の施策推進の方向性と軌を一にするものです。所内のホームヘルプ、ショートステイ、グループホーム、相談支援等のサービスの質量を高めるとともに、利用者を中心にして有機的連携力を強化し、さらに地域で生活する障がいのある人やご家族の支援に努めていきます。

りーどセンター長 友廣道雄

虐待防止研修を開催しました

2月と3月、りーどの職員全員を対象に人権・虐待防止研修を開催しました。講義だけでなく、ロールプレイを取り入れることで、当事者の気持ちを感じられ、意義ある研修となりました。



グループホームすてっぷ

◎ 節分の豆まきをしました！

2月3日の夜に節分の「豆まき大会」を行ないました！

仲間と職員の中から「鬼役」の立候補がありましたが、仲間の中には「当たったら可哀そうよ！」と、ソフトな豆まきになる場面もありました。
「今年一年すてっぷに福が舞い込みますように」



◎ アツアツをいかが！？



の家の休所日、仲間のみんなと考えて、ホットプレートを使った「チヂミと一錢焼き作り」をしました！

材料を切る、混ぜる、焼く、盛り付ける等、みんなで役割を決めて作りました。おいしかったあ～！

消防避難訓練を実施しました



2月26日、深夜の火災発生を想定して、すてっぷの消防避難訓練を実施しました。深夜は職員2名体制なので、消防への通報、仲間の避難誘導と想像を超える緊張感の中での訓練となりました。仲間のみんなも声を掛け合いながら協力して避難することができました。

りーどスタッフの紹介リレー その8



名前：重松 宏美

所属：城南区知的障がい者相談支援センター

仕事：相談支援専門員

マイブーム：断捨離（三十多年分の部屋の荷物の片付けをしています(^_^)）

一言コメント：早いものでりーどで4年目の春を迎えることができました。今年の目標は、仕事とプライベートの両立です♡